

特集  
地域コミュニティの再生

「ご近所の底力事業」による地域コミュニティの活性化

茨城県生活環境部 生活文化課 県民運動推進室

一 はじめに

近年の急速な少子高齢化や都市化の進展などにより、地域住民のライフスタイルや意識が変化し、地域における連帯感や公共心などが希薄化し、地域コミュニティの機能低下が懸念され、医療、福祉、環境などの地域に密着した問題に加え、女性や子ども、お年寄りなどが被害者となる犯罪が身近で起きるなど、地域の抱える問題が複雑化している状況にあります。

かつての地域社会では、ご近所の住民同士が強いきずなで結ばれ、お互いに助け合い、支え合い、地域の秩序が保たれる中、幼い子どもたちや青少年を温かく見守り、育て、お年寄りを大切にして、世代を超えた交流が行われるなど、防犯・防災や青少年の健全育成、地域福祉、環境美化などさまざまな面において「地域コミュニティ」が重要な役割を担ってきました。

「ご近所」同士のきずなを再生することにより、地域の課題のいくつかを解決できるのではないかと考え、茨城県では、平成十六年度より、地域のきずなを強め、地域コミュニティが本来持っている機能や役割を再生・活性化させ、「自分たちの地域は自

分ちで良くしていく」という、地域住民の自由な発想による自主的・主体的な地域づくりを支援し、「安全で快適な地域づくり」を推進するため、大好きいばらき県民会議と連携して「ご近所の底力事業」を実施しています。

※本事業の名称「ご近所の底力」は、分かりやすさといった観点から、日本放送協会（NHK）の理解をいただき、本事業と同様の趣旨で放映されていた、NHK総合テレビ番組「難問解決！ご近所の底力」から名付けられました。

※大好きいばらき県民会議とは、県内の団体・企業・県民・行政が連携し、それぞれの特色を出し合い、私たちの身の回りにあるさまざまな問題に目を向け、「やさしさ」とふれあいのある茨城づくりを進める運動を展開する団体です。



二 「ご近所の底力事業」について

(一) あいさつ・声かけ運動

「ご近所同士が知り合うきっかけをつくり、地域のきずなを強め、地域住民の連帯感の醸成を図り、地域のコミュニティの輪を広げるため、本県では、家庭・学校・地域・職場などで、「あいさつには『あい』がある。『おはよう』から始めよう。」をスローガンとして、「いつでも、どこでも、だれとでも」の精

神で、ご近所の底力事業の一つとして、「あいさつ・声かけ運動」を展開しています。特に、十一月を「あいさつ・声かけ運動強調月間」と定め、水戸駅前を起点とする県内各所において、街頭キャンペーンを実施するなど全県的な取組みを進めています。

## (二) 自主的・主体的な地域活動の支援

地域コミュニティが本来持っている機能や役割を再生させるため、平成十六年度から十八年度までの三年間、地域活動のきっかけづくりとして「ご近所の底力再生事業」を実施し、地域福祉、青少年の健全育成、防犯・防災、環境づくりなどを超える申請の中から、四百三十三の団体・グループに対して助成を行いました。

平成十九年度からは、地域コミュニティ活性化推進のモデル団体を育成するため、先進的で独自性の高い活動を行っている団体（八十団体）に対する助成を行うとともに、優れた取組みを行っている地域活動団体の顕彰や団体相互のネットワーク化、活動の手がかりとなる事例集の作成などにより、地域コミュニティの活性化の推進を図っています。

### 【主な支援内容】

#### ① 助成事業（ご近所の底力さきがけモデル育成事業）の概要

地域コミュニティ活動の「さきがけ」となるモデル的な取組みを行う団体に対する助成を実施しています。

#### ア 助成内容

・助成額…一団体・グループに対し、原則として十万円以内。

・助成対象経費…地域活動を行うのに必要な経費。  
イ 助成対象団体等

・ほかの団体等からの要請に応じて、活動内容・方法等について助言を行うことができ、積極的に地域活動に取り組む団体・グループが対象。  
（自治会・町内会、老人クラブ、子ども会、PTA、NPO、ボランティアグループ等）

・営利を目的とする団体、政治団体や宗教団体は、対象から除外。

ウ 助成対象の要件（地域づくりの視点に立っていることが原則）

・どのような地域を目指すのかという視点が明らかである。

・自然・文化・産業等の地域資源を活用した、特色ある取組みである。

・活動の強化に向け、住民や他団体との連携・協体制が整っている。

・地域住民に対し、取組みの経過や情報等を積極的に提供している。

#### エ 活動分野

・地域福祉、環境保全、青少年の健全育成、防犯・防災、交通安全、地域の活力づくり ほか

#### オ 活動内容（次のいずれかに該当する活動）

・活動分野が複数にまたがっている。  
・二世世代以上の交流を目指している。

・地域資源の活用による地域の活性化を目的としている。

・活動の充実・強化に向けた具体的な計画を有している。

・活動の中心となる人材を育成するための方針・体制が整っている。

・一定の区域（自治会（市町村域）で行われている活動（単独自治会も対象とするが、他自治会との連携による取組みを優先））。

カ 助成対象期間  
・当該年度の四月一日から翌年三月三十一日までの一年間に実施される活動が対象。

【参考1】 ご近所の底力再生事業の助成状況（H16～18）

年度	区分	防犯・防災	環境保全	青少年の健全育成	地域の活力づくり	地域福祉	交通安全	その他	計
H18	助成	95	12	9	9	16	—	—	141
	申請	148	48	35	43	41	2	3	320
H17	助成	82	18	17	14	9	3	—	143
	申請	124	53	65	65	41	7	1	356
H16	助成	48	24	32	14	27	4	—	149
	申請	75	59	86	81	77	11	4	393
計	助成	225	54	58	37	52	7	—	433
	申請	347	160	186	189	159	20	8	1,069

※既助成団体を除いた実申請団体数：1,018団体

【参考2】 ご近所の底力さがきげモデル育成事業の助成状況 (H19～21)

年度	区分	県北	県央	鹿行	県南	県西	計
H21	助成	5	3	1	8	3	20
	申請	8	6	4	17	7	42
H20	助成	4	3	7	9	7	30
	申請	7	4	12	18	18	59
H19	助成	7	6	1	9	7	30
	申請	19	10	11	28	18	86
合計	助成	16	12	9	26	17	80
	申請	34	20	27	63	43	187

② 交流・ネットワーク事業

ア ご近所の底力大賞顕彰大会  
 県民の地域活動への参加意欲の高揚と県民運動の一層の醸成による地域コミュニティ活動の活性化を図るため、優れた地域活動団体を表彰する「ご近所の底力大賞顕彰大会」を開催しています。

この大会は、一次審査を経た八団体によるプレゼンテーションをもとに、当日の来場者にも審査に参加していただく県民参加型の大会として実施しています。

イ ご近所の底力井戸端会議

地域活動団体同士のネットワーク化を促進し、住



【ご近所の底力井戸端会議開催の様子】



民主主体の地域づくりを推進するため、地域活動団体が有するノウハウや情報の交流の場となる「ご近所の底力井戸端会議」を開催しています。

地域活動を実践している方々が一堂に会し、地域活動の現場で、活動団体同士の意見交換や情報交換などが積極的に行われています。

- ・実施時期…毎年度一月～三月
- ・実施会場…県内五地区(県北、県央、鹿行、県南、県西)
- ・開催団体…地域の課題解決に取り組む五団体(各地区一団体)
- ・開催規模…各地区とも五十人程度
- ・開催費助成…井戸端会議の実施に係る経費の一部を助成

ウ ご近所の底力推奨団体の登録

ご近所の底力推奨団体として登録された団体の連絡先や活動内容などの情報をホームページ上で公開しています。これまで百六十一団体が登録され、地域活動団体相互の連携やネットワーク化を推進しています。

③ ご近所の底力実践事例集の作成

地域活動団体への直接助成に加え、地域活動への理解を深め、これから地域活動を始めようとする方や、現在、地域活動を行っている方の参考となるよう、「ご近所の底力さがきげモデル育成事業」で助成した団体の活動内容を事例集としてまとめ、市町村や関係団体などに広く配布しています。



#### ④ 事業推進体制

ア 有識者等会議の設置

事業の効果的な推進のため、有識者など十七人で構成する「ご近所の底力活性化推進事業プロジェクト会議」(座長：池田幸也／常磐大学教授)を設置し、事業手法の検討や助成団体の選定などを行っています。

イ 各種団体との連携

市町村、青少年育成茨城県民会議、社会福祉協議会など関係機関・団体とも連携しながら事業を推進しています。

### 三 おわりに

茨城県では、平成十六年度から、ご近所の底力事業により、自らの地域の課題解決に取り組む活動への助成や、団体相互のネットワークづくりなど、地域コミュニティの再生、活性化に向けた支援を行ってきた結果、県内各地域でさまざまな分野での活動が活発に行われるようになってきました。

ご近所の底力事業では、本事業開始以来六年間で、



福祉、環境、防犯、青少年の健全育成などの地域活動を行う五百十三の自治会やボランティア団体などに助成を実施しました。この助成がきっかけとなり、活動の輪が県内の全域に広がり、また、市民活動に対して独自に助成制度などを創設する市町村も年々増加しました。「さきがけモデル育成事業」の助成団体からも、「会員の参加意識が強まった」、「地域の人

たちとのつながりを強めることができた」、「もっと新たな取組みをしたい」、「活動を拡大したい」などの声が寄せられるなど、それぞれの地域において活動が一段と活発になってきており、「ご近所の底力事業」による助成は、地域コミュニティの活性化に一定の成果を挙げたものと思っています。

しかし、地域の課題は多面性を持ち、また複雑化していることから、今後は、既存の自治会・町内会などの地域コミュニティ組織とNPO・企業、そして多くの県民が相互に連携・協働した活動を展開できる環境づくりが必要であると考えています。

このため、今後は、幅広い世代や多様な価値観を持つ人々の交流促進を図り、また、地域に蓄えられた専門的なノウハウや人材、技術などを地域で生かせる仕組みを検討することなどにより、県内の地域コミュニティ活動のより一層の活性化を図ってきたいと考えています。

※大好きいばらき県民会議では、ホームページにおいて、助成団体・グループの一覧や活動事例集、顕彰大会などを公開しています。

茨城県生活環境部 県民運動推進室

△大好きいばらき県民会議事務局▽

TEL ○二九―二二四―八二〇

FAX ○二九―二二四―〇三〇

URL : <http://www.daisuki-ibaraki.jp/>

Email : [info@daisuki-ibaraki.jp](mailto:info@daisuki-ibaraki.jp)